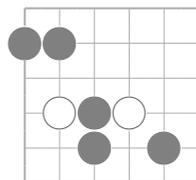


六路盤詰連珠

作品集 - 1

(第2版)



黒先追詰め

真野 芳久

東海連珠会

本小冊子に関する情報は、東海連珠会ホームページ^(*)の“連珠資料”内でご覧頂けます。また、pdf ファイルとして入手可能です。

(*) <http://tokai-renjukai.pya.jp/>

六路盤詰連珠 作品集 - 1 (第2版)

目次

1	六路盤詰連珠について	(2)
2	初級編	(3)
3	中級編	(11)
4	上級編	(19)
5	四追い問題編	(23)

本小冊子は、東海連珠会の Web ページ内に掲載している六路盤詰連珠の一部を冊子形式で紹介するものです。Web ページの詰連珠は、対話形式で検討できる機能を持っており、途中でヒントをもらったり、試行を繰り返して解を見つけ出す楽しみ方ができるようになっています。冊子形式ではそのような楽しみ方はできませんが、じっくり考えて解く方には向いているでしょう。

第 2 版発行について：

初版発行後に見つかったいくつかの誤りを正すとともに、表記法などを作品集-2 以降のものと統一するために第 2 版を出すことにしました。なお誤りが残っているかもしれませんが、これまでと同様に Web 上に載せる正誤表で対応していきます。

1 六路盤詰連珠について

連珠は 15×15 の連珠盤を使う競技で、詰連珠も当然その盤を使います。六路盤詰連珠はその名の通り 6×6 の盤を使う詰連珠で、連珠のルールの下で実戦的要素の多くを取り除いてコンパクトサイズにした知的ゲームあるいは知的パズルと考えられます。

基本的には連珠および詰連珠のルールに従いますが、詰連珠の魅力を狭い盤上で味わえるよう、「黒石、白石の個数と配置は自由 (中心付近に黒石がなくてもよく、極端な場合、防ぎ手側の石は 0 個でもよい)」というように、形態の面では通常の詰連珠より条件を緩めてあります。

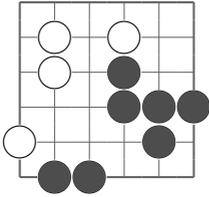
六路盤は詰連珠問題が成立し得る最小の盤です。敢えて小さな盤を使うことで、検討範囲が限られその中でしっかりと変化を読み切る訓練がしやすいという利点が考えられます。ただし、六路ゆえの制約や特殊性のために、通常の連珠センスとは幾分異なる考え方を使った方が解きやすくなる面もあります。連珠という広い世界の中の 1 つの楽しみ方、と気楽に考えてもらった方が良くもかもしれません。

詰連珠では、防ぎ手が最長手数となるように防ぐ変化を主図とすることになっています。六路盤詰連珠でも同じです。ただし、白が三を使って禁手にはめる手筋などでは記述の簡略のためにそのルールに従っていない部分があります。

Web ページに紹介している六路盤詰連珠問題では、まず追詰め問題と四追い問題に大別し、追詰め問題では難易度を ~ の 3 レベルに分けています。ここでもそれを踏襲し、 を初級編 (A01 ~ A16)、 を中級編 (B01 ~ B16)、 を上級編 (C01 ~ C08) として、3 つの節で追詰め問題を紹介しています。これに加え、四追い問題の節 (D01 ~ D04) があります。

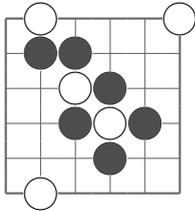
問題の作成には十分に注意を払い検討を重ねたものではありませんが、筆者の不熟さゆえに思いもかけぬ好手・好防あるいは単純な見逃しの手があって余詰め・不詰め問題となっているかもしれません。また、解答の記述では不完全あるいは不適当な部分があるかもしれません。そのようなことがあり得ることを前もってお詫びし、その場合は筆者宛にご連絡して頂ければ幸いです。

2 初級編



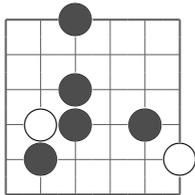
【A01_(c037)】*1 黒先追詰め (黒 7 珠・白 4 珠)

ヒント：綺麗に決まります。正解手に気付くかどうかです。



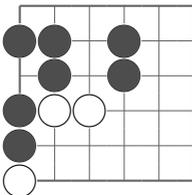
【A02_(c025)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：基本計画を立て、防ぎの変化も少し考えて……。



【A03_(c009)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 2 珠)

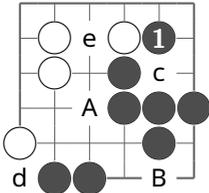
ヒント：トンデ、トンデ、……ということ、初心者向きの練習問題に適しているでしょう。



【A04_(c038)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 3 珠)

ヒント：1 手目が勝負です。

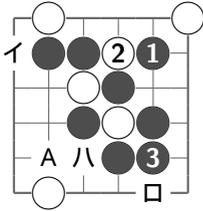
*1 【 】内の問題番号直後の cxxx 等は、Web ページで示している問題番号です。



【A01_(c037) 解答】 1 後、A or B *2

最初に B は白 d と、c は白 1 と止められます。*3

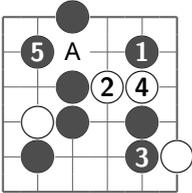
B に対して白 d が強防であることや、黒 e が三でないことは、六路ならではの特徴と言えるでしょう。



【A02_(c025) 解答】 3 後 A

- 2 他は*4、同じ or (A イ口 3 八) *5

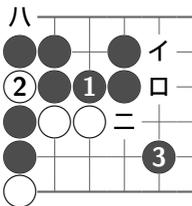
白 2 で右止めが少し心配でしたが、ノリ切りとなる四追いがありました。



【A03_(c009) 解答】 5 後 A

- 4 他も同じ
- 2 他は、4 後 2

初心者には考えにくいトビ三の連続で勝つ問題でした。



【A04_(c038) 解答】 3 後 (イ口)

- 2 他は、(八二)

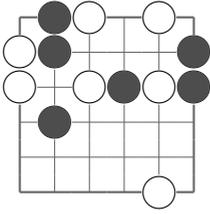
黒 1 の三で左止めを強制するのがミソでした。

*2 “～後 A” は、A で四三となることを示します。“～後 A or B” は、防ぎ手に関わらず A が B のいずれかで四三を作ることができることを示します。

*3 “ ” で始まる文は、攻め手側の失敗手の説明です。

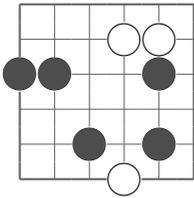
*4 三やミセ手を止めることを前提としての記述なので、それらを止めなかった場合は、棒四や四三を作ります。

*5 “(イ口八)” のように丸括弧を使う場合は、四追いであることを示します。



【A05_(c049)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 7 珠)

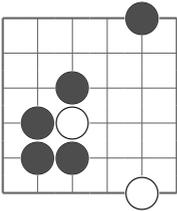
ヒント：1 の着手候補はいくつか目に付きますが、いずれも強防があります。強防をかいくぐる正解はどれでしょうか。



【A06_(c013)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 3 珠)

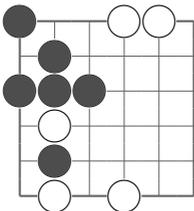
ヒント：四三を作りた場所に向かって……。

15 路盤だと思つと“三・四三”に見えてしまいます。狭い盤のため斜めの三は対角線上の 2 種類だけです。勘違いしやすいので注意が必要です。



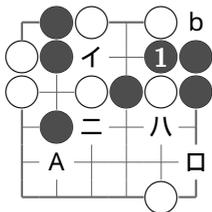
【A07_(c032)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 2 珠)

ヒント：手順を間違えなければ簡単な問題です。



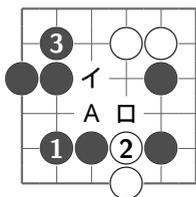
【A08_(c027)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：実戦でもしばしば現われる基本手筋です。



【A05_(c049) 解答】 1 後、A or (イロ) or (イハ A 二)
(2 の強防は b)

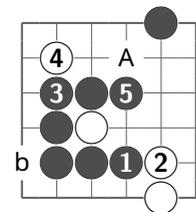
最初にイは白 1 と、ロは白 b と、ハは白二と、二は白 1 と止められます。



【A06_(c013) 解答】 3 後(イロ) (白の四ノビは無効*6)

- 2 他は、3 後イ

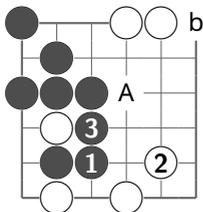
初手からロ・イと進めようとしてもロが三ではなく、
2・A・イと進めようとしても A が三ではありません。



【A07_(c032) 解答】 5 後 A

- 4 他も同じ
- 2 他は、4 後 2

最初に 3 は白 4 と止められ、次に 1 としても白 b と止
められます。最初に 4 は、白 3 と止められます。



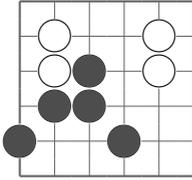
【A08_(c027) 解答】 3 後 A

- 2 他も同じ

最初に 3 は白 b 等*7 と止められ、僅かなところですが
勝ちはありません。

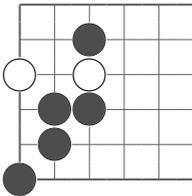
*6 “無効な四ノビ” とは、攻撃側に新たな追手が生じ、四ノビ前の追手と新たな追手を同時に
止められない状態になる四ノビを言います。

*7 他の防ぎ方もある場合は“等”を付けて示します。



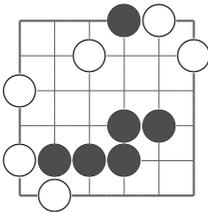
【A09_(c005)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 4 珠)

ヒント：ノラれそうですが、怖がる必要があるでしょうか。



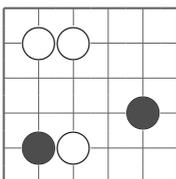
【A10_(c001)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 2 珠)

ヒント：白の四には少しだけ気を付けて下さい。
この問題ですぐに目につくのは 2 種類の“三・四三”らしきものですが、一方は夏止めの形のため三でなく、他方は白にノラれています。



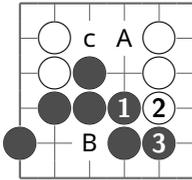
【A11_(c046)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 6 珠)

ヒント：白のノリ手への対処法を考えます。



【A12_(c011)】 白先追詰め (黒 2 珠・白 3 珠)

ヒント：白の特権を生かした禁手狙いの問題も作ることができるという例です。

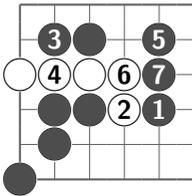


【A09_(c005) 解答】 3 後、A or B

(黒 3 からは A・3 でも勝ちですが、同勝ち筋の 1 珠増)

- 2 他は、A

最初に 3 は白 c と、B も白 c と止められます。

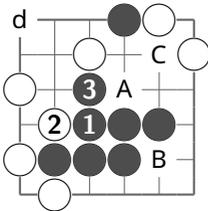


【A10_(c001) 解答】 7 までで三が 2 ヶ所にできて黒勝ち

(別々にできたものなので否三々)

- 4 他は、5
- 2 他も同じ

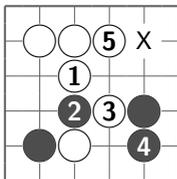
黒 3・1 と進めると、白 6 と先に四ノビされ失敗です。



【A11_(c046) 解答】 3 後、B or (A (C)) *⁸

- 2 他は、A

最初に 3 は、白 d と止められます。



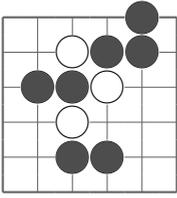
【A12_(c011) 解答】 5 まで X 点三々禁

- 2 や 4 で他も同様*⁹

三々の禁手にはめる基本問題です。

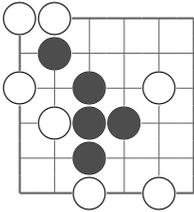
*⁸ 防ぎ方によってはノリ返しのために必要となる四ノビがある場合は、四追い列中に入れ子の“()”を使って表わします。

*⁹ 他止めの方が白の四ノビを必要とさせて手順は長くなりますが、記述を簡略化しています。



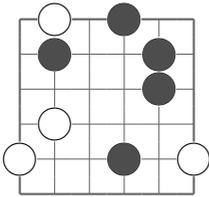
【A13_(c034)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 3 珠)

ヒント：左右をうまく結び付けて勝ちに導きます。



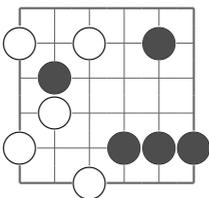
【A14_(c030)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 7 珠)

ヒント：初手は基本手筋ですが、白の防ぎ方にも気を付けて下さい。



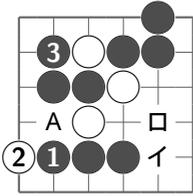
【A15_(c026)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 4 珠)

ヒント：正しい手順であればノリ手もこわくありません。



【A16_(c036)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 5 珠)

ヒント：ノリ手になる防ぎ手がある時は、前もってそれとも考えておきましょう。

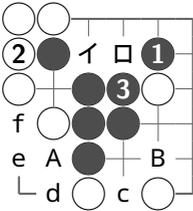


【A13_(c034) 解答】 3 後 (イ (口))

- 2 他は、A

最初にイは、白 1 と止められます。

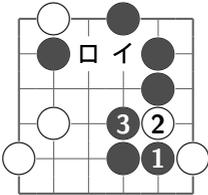
六路盤では、三をヒイて一方に剣先を残す、という方法が通常は使えません。【A04】と同様に、ここでも左止めを強制して右側に剣先を残しています。このような打ち方ができると、攻めの幅が広がり勝ちにつながりやすくなります。



【A14_(c030) 解答】 3 後 (イ口)

- 2 他は、A 後 B

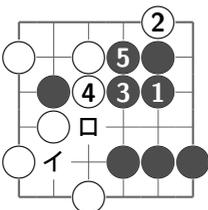
最初に A は白 c と止められ、次に d としても白 e と止められます。黒 3 で A は、白 e または f の四ノビ後に白 3 と止められます。途中でイの四ノビをすると勝てなくなります。



【A15_(c026) 解答】 3 後 (イ口) (白の四ノビは無効)

- 2 他は、3 後イ

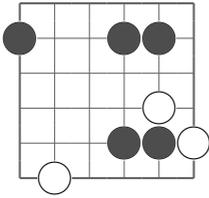
最初にあるいは黒 3 でイは、白口と止められます。



【A16_(c036) 解答】 5 後 (イ口) (白の四ノビは無効)

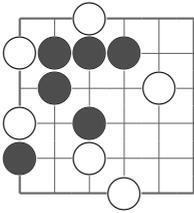
- 4 他は、イ
- 2 他は、3 後 (イ (口))

3 中級編



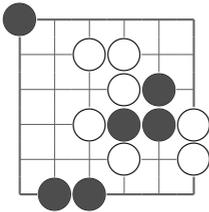
【B01_(c002)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 3 珠)

ヒント：“三・四三”ではありません。読みやすい形ではありますが、最後まで油断しないよう、ノラれないよう、ノビルべき所はノビて。



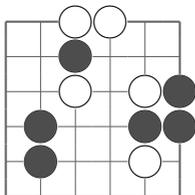
【B02_(c051)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 6 珠)

ヒント：最後まで気を抜かないように。



【B03_(c010)】 白先追詰め (黒 6 珠・白 7 珠)

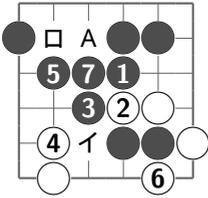
ヒント：白の特権を生かしたこんな問題も作れます、という例です。



【B04_(c004)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：簡単そうですが白にもうまい防ぎがあります。好防に対する攻めも読み切って下さい。

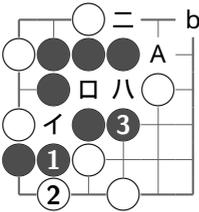
六路では、三への防ぎは必ず3箇所あり、三のように見えて盤端との関係で夏止めになっていることもあり、錯覚しやすく注意が必要です。



【B01_(c002) 解答】 7 後 A

- 4 他は、(4 イ A)
- 2 他は、(2 口)

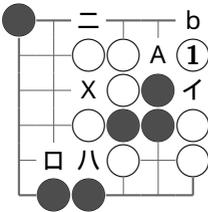
最初に 2 は白 1 と、7 は白 1 等と止められます。5 をノビずに 7 の両ミセは、白 5 と止められます。



【B02_(c051) 解答】 3 後、A or (イ口) or (A ハイロニ)
(4 の強防は b)

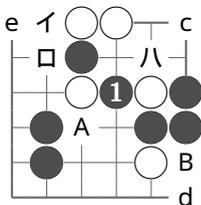
- 2 他は、A

最初にイは、白 1 と止められます。



【B03_(c010) 解答】 1 後、A、あるいは (A イ口ハニ) で
X 点長連禁

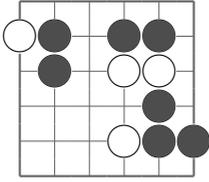
最初に A は、黒 1 の四ノビ後に黒口と止められます。黒 b の強防に対する四追いがこの問題の見せ場です。長さ 7 以上の長連はもちろん無理ですが、長連禁にハめる問題も作ることができるという例です。



【B04_(c004) 解答】 1 後、A or B or (イ口 A(ハ))

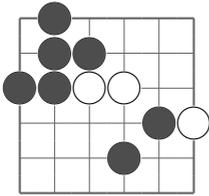
最初に B は白 c 等と、口は白イと、ハは白 1 と止められます。

白 2 を c や d, e に防ぐ手とその対策まで読めていたでしょうか。最初に B と三をヒイても良さそうですが、やはり c や d が強防で、勝てなくなります。



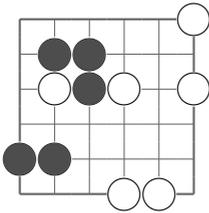
【B05_(c047)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 4 珠)

ヒント：初手の候補はいくつかありますが、左辺と右辺を結び付けられるように 1 つに絞ります。



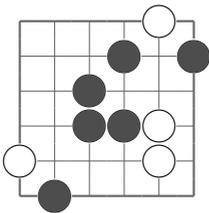
【B06_(c008)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 3 珠)

ヒント：ヒイていくだけで簡単に勝てそうに見えますが、本当でしょうか。



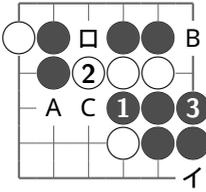
【B07_(c044)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 6 珠)

ヒント：2 種類の“三・四三”にはノリ手が待ち構えています。白のノリ手を外す方法を考えます。



【B08_(c031)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 4 珠)

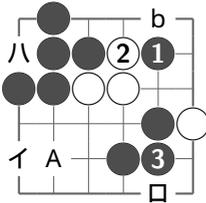
ヒント：すぐの四三は無理です。白には横にも剣先ができそうで気になりますが…。



【B05_(c047) 解答】 3 後、A or B

- 2 他は、(B イ 3 A)、あるいは C 後 (2 口)

最初に 3 は、白イと止められます。初手から A・3 あるいは B・3 と進めるのは、3 の時に白イと止められます。

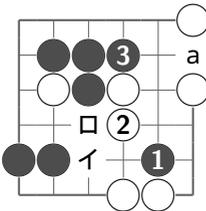


【B06_(c008) 解答】 3 後、A or (A イ口ハ)

(4 の強防は b)

- 2 他は、3 後 A

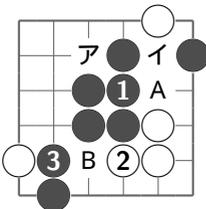
六路盤では盤端をどう利用するかが鍵となることが多いようです。



【B07_(c044) 解答】 3 後 (イ (口))

- 2 他は、イ

最初にイは白口と、3 は白 a と止められます。

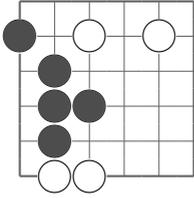


【B08_(c031) 解答】 3 後 A

(黒 3 を A でも勝ちですが、同勝ち筋の 1 珠増)

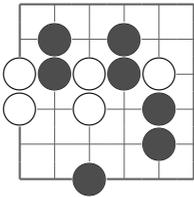
- 2 他は、A

最初にアは追い手でなく、B は白 A・黒イの時に追い手になっていません。黒 3 で B は、アが四々禁絡みとなり勝てません。



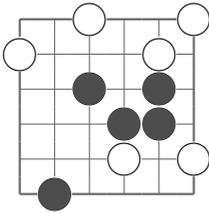
【B09_(c043)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 4 珠)

ヒント：狙いは明らかですが、白の防ぎにも注意して最後まで読み切って下さい。



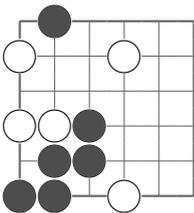
【B10_(c040)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 5 珠)

ヒント：左・上・右どこから始めるかは読まなければいけません。



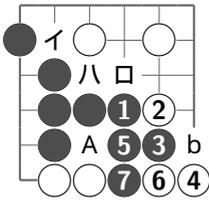
【B11_(c028)】 黒先追詰め (黒 5 珠・白 6 珠)

ヒント：有望な手にはノリ手が用意されています。ノリ手を無効にする手順は？



【B12_(c007)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

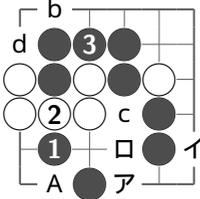
ヒント：手順を誤ると白に防ぎが成立します。白にできる剣先を怖がってはいけません。



【B09_(c043) 解答】 7 後、A の棒四 or (イ口ハ)

- 4 で b は、口後 5 or (イ (ハ))
4 で他は、5 or イ
- 2 他も同様

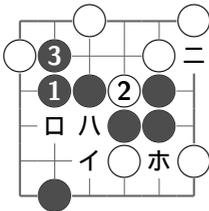
最初に 3 は、白 6 と止められます。黒 3 で口は、白 6 等と止められます。



【B10_(c040) 解答】 3 後 (イ口)

- 2 で b は、ア後 A or 口
2 で A は、(b 3)

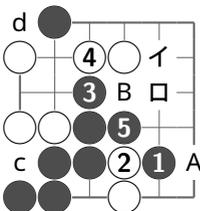
最初に口は白 c 等と止められ、その後の b は白イと、イは白 b 等と止められます。最初にイは白 b 等と、b は白イ等と、3 は白 d と止められます。黒 3 でイは、白 3 と止められます。



【B11_(c028) 解答】 3 後 ((イ) 口ハ) (白の四ノビは無効)

- 2 他は、口後 (3 (2)) or (ニ 3 ホ)

最初に 3 は白ホと止められ、次に 1 や口は右に止められます。最初に口は白ハと、ハは白口と止められます。

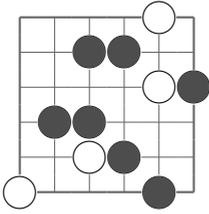


【B12_(c007) 解答】 5 後 (イ口)

(黒 5 からのイ・5 は、同勝ち筋の 1 珠増)

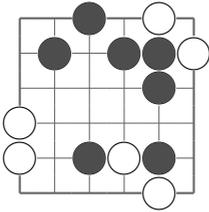
- 4 他も同じ
- 2 で A も同じ。2 で c は (A B 4)

最初に 3 は白 4 と止められ、次に 1・5 としても白 c・d と止められます。



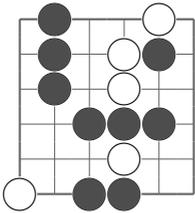
【B13_(c035)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 4 珠)

ヒント：ノラれても勝ちが残るようにします。【A13】をちょっと難しくした形になっています。



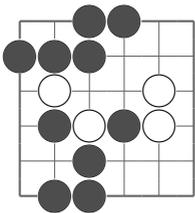
【B14_(c024)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 6 珠)

ヒント：“四・四三”はノラれていますので他の手順を考えます。



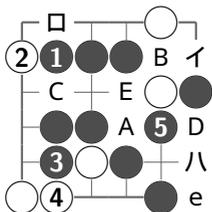
【B15_(c015)】 黒先追詰め (黒 9 珠・白 5 珠)

ヒント：四々禁の場所がありますが、逆用します。



【B16_(c014)】 黒先追詰め (黒 10 珠・白 4 珠)

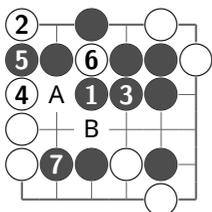
ヒント：勝ち筋がいくつか…。でもノリ手も。手順にも注意。



【B13_(c035) 解答】 5 後、A or (イロハ)

- 4 他は、(B E)
- 2 他は、C

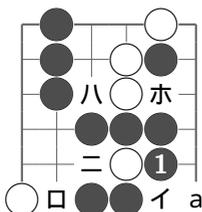
最初にイは白 B と、D は白 5 と止められます。黒 3 や黒 5 で D は、白 5 と止められます。いずれもなお攻め続けることはできますが、白 e の強防があつて勝てません。



【B14_(c024) 解答】 7 後 A

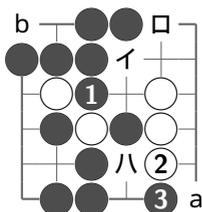
- 4 他は、((4) B)
- 2 他は、3 後 B

最初に 6・1 とするのは、白にノラれています。



【B15_(c015) 解答】 1 後、(イロ) or (ハニホロ) で四と同時に横の三が復活する異焦点の四三勝ち

最初にイは白 a と、ホは白 1 と止められます。

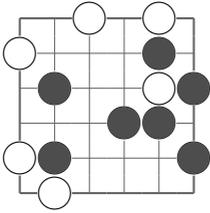


【B16_(c014) 解答】 3 後 (イロ) (白の四ノビは無効)

- 2 他は、(2 イハ)

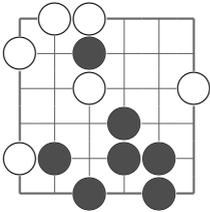
最初に 3 は白 a、口は白 b、2 は白 1 と止められます。

4 上級編



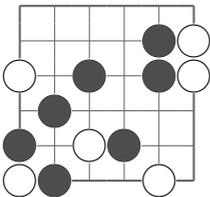
【C01_(c003)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 6 珠)

ヒント：余詰めのある不完全問題でした。黒 3 後四追いか、黒 5 後四追いになります。



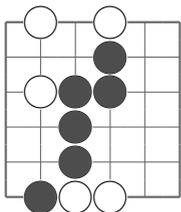
【C02_(c006)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 6 珠)

ヒント：初手に好手を放ちます。防ぎ手によっては数回の四追いを用意します。



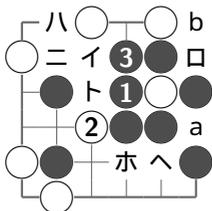
【C03_(c041)】 黒先追詰め (黒 7 珠・白 6 珠)

ヒント：限られた攻め筋を有効に生かします。



【C04_(c029)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：手は限られていますが、攻守ともに好手があります。

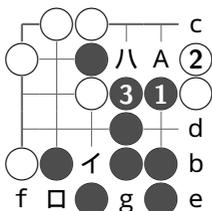


【C01_(c003) 解答】 3 後、(イ口) or (八ニホヘト)

- 2 他は、2

最初に a や口は、白 b と止められます。黒 3 でホは、白 3 と止められます。

余詰めは、黒八、白 2、黒ニ、白止め、黒トとして、以下 2 or 3 回の四追いです。



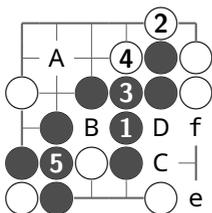
【C02_(c006) 解答】 3 後 A

- 2 でイ、b、口も、3 後 A

2 他は四追い : c, d, e, f は (イ 2 A 八)、g は (イ 2 A 八 3)、他は (イ口)

最初に 3 は白八と、A は白 1 等と止められます。

黒 1 は (イ口) 等の四追い含みです。種々の防ぎ手があり、すべてを読み切るのは大変です。図の白 2 は、3 後 A が見えているので弱防そうですが、他の多くの止め方では四追いが残っているので詰連珠としては強防です。

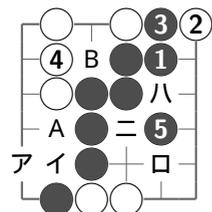


【C03_(c041) 解答】 5 後、A or B

(5 からは “A 後 (5 B)” も可)

- 4 他も同様
- 2 で 4 は、C 後 D (“D 後 C” も可)
- 2 で他は、(2 D)

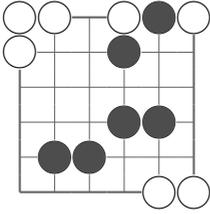
黒 3 で A や 5 は白 e と、B は白 f と止められます。黒 5 で B は、白 f と止められます。



【C04_(c029) 解答】 5 後、A or (イ口) or (八ニ)

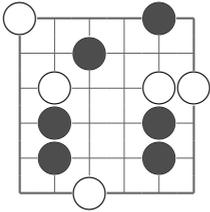
- 4 他は、B or (アイ口八ニ) or (アイ口 B 4)
- 2 他は、B

黒 5 で口は、白 A と止められます。



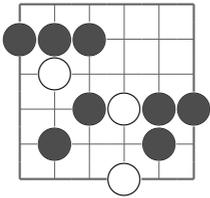
【C05_(c033)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 7 珠)

ヒント：長めですが、ほぼ一直線です。最後まで油断せずに。



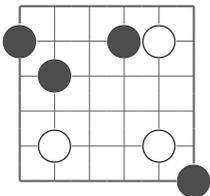
【C06_(c045)】 黒先追詰め (黒 6 珠・白 5 珠)

ヒント：白の四ノビを無効にするように攻めます。



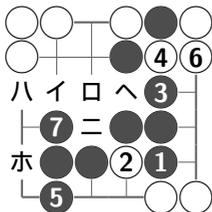
【C07_(c042)】 黒先追詰め (黒 8 珠・白 3 珠)

ヒント：四三々の所を四三にする方法を考えます。



【C08_(c012)】 白先追詰め (黒 4 珠・白 3 珠)

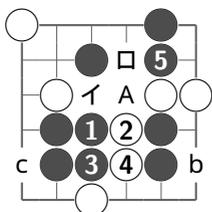
ヒント：白先の禁手絡みの問題です。
簡単そうにも見えますが、黒の防ぎへの対応を考え、手順前後にも注意しなければなりません。



【C05_(c033) 解答】 7後、(イロ) or (イロ八二)

- 2他は、(ホ7) or (2へ4二)

最初に3は、白ホと止められます。

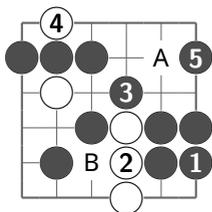


【C06_(c045) 解答】 5後(イロ)

- 4他は、同じ or (b A)
- 2他は、A後 (b 4 2)

2, 4の時点で白は四ノビできません。

最初に2は白1と止められ、次に4としても白A・cと、イとしても白ロ等と止められます。最初に3は白イ・4と、4は白c等と止められます。最初にイは白1と止められ、次に4としても白cと止められます。黒3でイは白3と、5は白A・cと止められます。

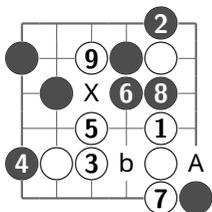


【C07_(c042) 解答】 5後、Aの棒四 or Aの四三

- 2他は、(A (2)) or B or 3

最初に3は、白1と止められます。

黒1は、Bの四三を狙うと同時に、四々禁絡みでA点を四三にしています。



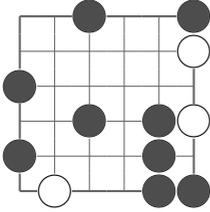
【C08_(c012) 解答】 9までX点四々禁

(黒6での四ノビ無効)

- 6他は、(A 6 9)
- 4他は、容易に6点三々禁
- 2で7は、白2・3として容易に6点三々禁
- 2で8は、白3として容易に6点三々禁

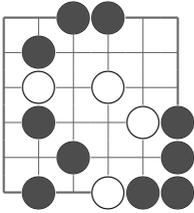
最初に3は、黒bと止められます。

5 四追い問題編



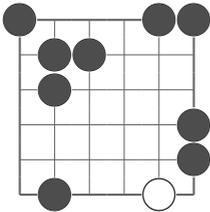
【D01_(d003)】 黒先四追い (黒 9 珠・白 3 珠)

ヒント：いつもながらですが、ノリ手には注意しましょう。



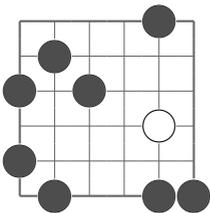
【D02_(d001)】 黒先四追い (黒 10 珠・白 4 珠)

ヒント：白の四には少しだけ気を付けて下さい。6 回の四追いです。



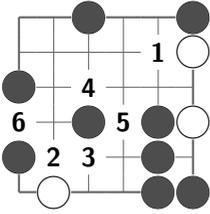
【D03_(d002)】 黒先四追い (黒 9 珠・白 1 珠)

ヒント：白に四ノリされないよう気を付けて下さい。7 回の四追いです。



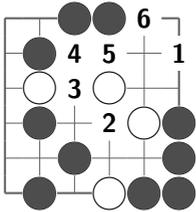
【D04_(d004)】 黒先四追い (黒 8 珠・白 1 珠)

ヒント：8 回です。少し読みにくいかもしれません。



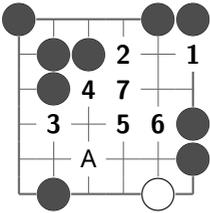
【D01_(d003) 解答】 黒 1～6 で四三勝ち

3 以外は一本道でした。



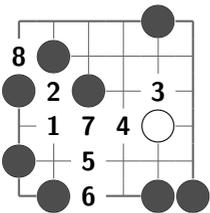
【D02_(d001) 解答】 黒 1～6 で四三勝ち

白は 5 を止めた時に四三ができますが、黒もそれを止めて四三です。



【D03_(d002) 解答】 黒 1～7 で四三勝ち

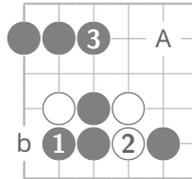
6 で A としても勝ちになりますが、無駄な一手です。



【D04_(d004) 解答】 黒 1～8 で四三勝ち

途中からの変化は少ないのですが、四三が気付きにくそうな場所でした。

表紙の問題の解答



3 後 A の四三勝ち

2 で b は、A 後 3 の四三勝ち

六路盤詰連珠 作品集-1

2011 年 11 月 6 日 初 版

2012 年 12 月 16 日 第 2 版

2017 年 11 月 1 日 第 2 版第 2 刷

著者：真野 芳久

ga28735@gk2.so-net.ne.jp

発行：東海連珠会

